

岡田港船客待合所・津波避難施設がオープン

平成28年度から建築工事等が行われてきました岡田港船客待合所・津波避難施設がいよいよオープンしました。

2月5日（火）に行われた完成記念式典に続き、同月7日（木）から新たな船客待合所として皆様にご利用いただいております。

この施設は、船客待合所の機能に加え、万一、大規模地震により津波が発生した場合、旅客船のお客様など港の利用者が津波到達前に安全に避難していただけるよう、津波避難施設が整備されています。

船客待合所は、1階にチケットカウンターと待合所、2階に売店と大島町が地域住民の交流の場として整備した「岡田港ふれあい交流スペース」、3階にはレストランが設けられています。

津波避難施設は、地上から12.9メートルの高さの4階屋上部分に整備され、1,600人の方が避難できるスペースと飲料水、非常食などを保管する備蓄倉庫も設置されています。

また、建物のデザインは、津波や漂流物の衝撃を受け流す流線型の形状としているほか、外装の大部分をガラス張りとする事で、内部からの眺望を確保するとともに、自然採光を取り入れるなど、様々な工夫がなされています。

現在、岸壁から津波避難施設へ通じる「津波避難通路」の工事が急ピッチで行われており、3月末には完成する予定ですが、駐車場など施設周辺の整備にはしばらく時間がかかる見通しとなっています。周辺整備が完成するまでの間、ご利用の方々にはご不便をおかけすることとなりますが、引き続きご協力いただきますようお願い申し上げます。



大島空港で緊急時対応訓練を実施

大島港湾空港管理事務所では、皆様に安心して空港をご利用いただけるよう、万が一の緊急事態に対応するために不法侵入対応や消火救難などの訓練を定期的実施しています。今年度も10月と2月に、航空会社をはじめ大島警察署や大島町消防本部など関係機関の協力を得て実施しました。

平成30年度大島空港航空保安訓練

平成30年10月25日、不法侵入事案対応訓練及び航空機不法奪取事件対応訓練を実施しました。

訓練は、不審者が保安検査を強行突破したうえ、航空会社社員を人質に航空機を奪取するとの想定の下、関係機関への連絡通報から、旅客の安全確保、警察官による追跡、人質解放、不審者確保までの対応について、実地に訓練しました。



平成30年度大島空港消火救難訓練

平成31年2月21日、消火救難訓練を実施しました。飛行中にエンジントラブルを起こした定期旅客機が緊急着陸の後、エンジンから出火する想定で、各関係機関への通報から、消防による放水、消火、乗客乗員の救出、搬送、トリアージに至るまでの訓練を行いました。



急げ、利島港西側岸壁等災害復旧工事

昨年、台風12号や24号など、稀に見る多数の台風襲来により利島港の岸壁、護岸や物揚場等が被災しました。中でも、西側岸壁においては、構造物全体が東に不均等に動く等、被害は甚大で、本船等の接岸ができない状況となっています。可能な限り最短で西側岸壁が利用できるよう、護岸と岸壁機能の復旧を目指し、都港湾局と共に急ピッチで緊急工事を進めています。

現在、被災し破壊された上部コンクリートを破砕撤去し、新たに上部コンクリートの構築等を行っております。また、今後は、岸壁法線をそろえるためのコンクリート打設や水中部の被覆・根固ブロック、防舷材の復旧等を含め岸壁機能の回復に努めていきます。



被災直後 平成30年10月1日撮影



上部コンクリートの復旧状況 平成31年2月26日撮影